

充実した学校生活と活躍

廣州日本人学校には、今日も子どもたちの元気な声が響いています。

今月は中学部の活動を紹介します。

中学部2年生は、9月14日～16日に西安への修学旅行に行ってきました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で北京への修学旅行が叶わなくなりました。実は、この中学部2年生の生徒たちは、小学部6年生になった時が新型コロナウイルスの影響を直撃した経験を持っており、修学旅行の行き先を西安から広東省内の佛山と肇慶に変更した経緯がありました。そこで、小学部6年生の時に行く予定だった中国の悠久の歴史の舞台である西安を目的地に変更しました。生徒たちや保護者の熱い思いが実を結び、夢が現実となった2泊3日を過ごしてきました。「大雁塔」「青龍寺」「回族街」「鐘楼」「兵馬俑」「華清池」「興慶宮公園」「城壁」。実際に行って、自分たちの体で見聞することで、中国の歴史や日本との関わりを再確認し、机上の学びを本物の学びにつなげる時間となりました。



中学部では、9月28日に生徒会選挙を行いました。それぞれのポストに候補者が名乗りを上げ、新しい廣州日本人学校を創ろうと頼もしい演説をしてくれました。推薦者による演説もあり、それぞれの候補者の熱い言葉が飛び交う演説会になりました。本校の生徒会は、「トリプルA（あいさつ、安心、明るい笑顔）」を掲げ、その実践により校内の活性化が図られています。新生徒会は10月18日の認証式から発足し、運動会が最初の大仕事となります。小学部の児童会と共に、児童生徒会が活力ある学校に牽引してくれることを期待しています。



廣州日本人学校は、「つながり」を大切にした教育活動を行っています。日本国内や中国国内の他の日本人学校では多くの活動制限がある中、子どもたちが毎日当たり前のように学校に登校し、学習をしたり、活動をしたりすることができることにうれしさを感じます。今後も、子どもたちの学びを止めることなく学校を運営してまいります。更なるご理解とご支援を賜われますようお願い致します。